

編集後記

私の専門は中国古典学であつて、研究上キリスト教と関わることはこれまで無かつた。東洋史や科学史研究の分野において、宣教師の活動が注目され研究対象となつてきたことはしばしば目にしていたが、それが自らの研究と深く関わりと実感することは無かつた。しかし宣教史、信仰史という枠組みを脱して、東西「文献」文化の衝突として考えることに思い至つたとき、その影響力や、東洋文化の特色を照らし出す能力において、キリスト教は私にとつて魅力的な研究対象としてあらわれてきたのである。そして東洋におけるキリスト教のさまざまな様態と社会との関わりを、宗派のしがらみのないところで検証している研究を広く知りたく思つた。これがこの特集編集の企図である。

しかし、所詮はキリスト教研究の素人、私は研究の歴史も、研究者の分布も傾向も、ほとんど知識を持っていなかつた。そんな私を導いてくださったのが、座談出席者でもある渡辺祐子・牧野元紀の両先達である。わかりやすい枠組みと、宗派にとらわれない執筆者とという私の難しいお願いに、見事なアドバイスをくださったことにまず感謝したい。また専門性を活かしながらも、知識を持たない読者へわかりやすく語つてくださった執筆者と座談者にも、心より感謝する。そして座談をとおして強く語られているよ

うに、東洋のキリスト教の、より有機的で、全体への視線を備えた研究の進展に、この特集がつかげばと思う。
（木島史雄）
一〇月から編集長が交代した。もともと七月刊行の子定だったが、大幅に遅れ、執筆者はじめ関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びする。実質的には次号から新編集体制の下での刊行となる。
（砂山幸雄）

愛知大学現代中国学部 <http://adai.ac.jp/kyodai/kyodai.html>
中国21 編集委員会

〔編集長〕砂山幸雄 木島史雄 安部 悟
梅田康子 古澤賢治 松岡正子

三好章 劉 柏林 吉川剛（五十音順）

中国21 Vol.28

二〇〇七年十二月二十五日発行

編集

愛知大学現代中国学会

愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇

電話〇五六一三六一一三二四

発行人

馬 場 毅

発売

風 媒 社

名古屋市中区上津浦二一九一四

久野ビル

電話〇五二一三三一一〇〇〇八

制作

印刷 (株) あ る む

名古屋市中区千代田三一一一

電話〇五二一三三二二一〇八六一

❖ 投稿原稿を募ります ❖

「中国21」は、新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、気鋭の論考を広く募集いたします。現代中国に関するテーマであれば、そのジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待いたします。募集の要領は左記の通りです。

①現代中国に関する論考（未発表のものに限る）。②四〇〇〇字語原稿用紙換算。論説、研究ノート、報告・ルポ、資料等③五〇枚程度。書評④二〇枚程度。エッセイ⑤一〇枚程度。③原則としてワープロで作成した縦書き原稿二部及びフロッピーディスクを提出。

❖ 表紙画募集 ❖ 「中国21」の表紙デザインに用いる絵画・写真を募集いたします。絵画については作品のカラー写真を、写真についてはプリントを御送付下さい。

送付先
〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇
愛知大学現代中国学会
☎〇五六一三六一一三二四
FAX〇五六一三六一五五二六

投稿規程の詳細は現代中国学会室までお問い合わせ下さい。採否は、編集委員会の検討を経て決定し、採用にあたっては規定により薄謝を呈呈します。なお、応募された原稿及びカラー写真等は、採否に関わらず返却いたしません。